

## 運転時認知障害発見チェックリスト

2つ以上は要注意!

- 道路標識の意味が思い出せないことがある。
- 曲がる時にウィンカーを出し忘れることがある。
- バックミラー(ルーム、サイド)をあまり見なくなった。
- 反対車線を走ってしまった(走りそうになった)。
- 車間距離を一定に保つことが苦手になった。
- 合流が怖く(苦手)になった。
- 駐車場所のラインや、枠内に合わせて車を停めることが難しくなった。
- 急発進や急ブレーキ、急ハンドルなど、運転が荒くなった(と言われるようになった)。
- 交差点での右左折時に歩行者や自転車が急に現れて驚くことが多くなった。
- 運転している時にミスをしたり危険な目にあったりすると頭の中が真っ白になる。
- 運転すると妙に疲れるようになった。
- 駐車場で自分の車を停めた位置がわからなくなることがある。

NPO法人 高齢者安全運転支援研究会 理事 日本認知症予防学会 理事長  
鳥取大学医学部教授 浦上克哉先生【監修】「運転時認知障害早期発見チェックリスト」から抜粋

垂井町では免許を返納された方に町内巡回バスの無料定期券一年分をお渡ししています。

(詳細:15ページ)

交通安全教室を開催しませんか?交通指導員と腹話術人形が訪問します。一緒に楽しく学びましょう。

問 企画調整課 生活安全係 ☎22-1152



交通安全  
だより



おじいちゃんがいつ運転免許を返納したらいいかって悩んでいるよ。何歳で返納するのがいいの?

「何歳」ではなく、周囲や運転への注意力が続かなくなった時に考えてみよう。自分では運転に自信があっても、人から見たら「危ない」と思うこともあるからね。  
家族と一緒にチェックリストを確認してみよう。

「何歳」ではなく、周囲や運転への注意力が続かなくなった時に考えてみよう。自分では運転に自信があっても、人から見たら「危ない」と思うこともあるからね。  
家族と一緒にチェックリストを確認してみよう。



## 消防署だより Fire Station Information

### 外出先での地震の対処



地震が発生したときは、あわてず行動をすることが重要です。特に外出先で地震が発生した場合には、どのような行動をすべきか、日頃からイメージしておくことが大切です。

#### 住宅地の場合

- ブロック塀や石塀、電柱、自動販売機は倒れる危険があります。揺れを感じた際は離れましょう。
- 住宅の屋根瓦やベランダなどに置かれている物が落ちてくる可能性があります。頭上からの落下物に注意しましょう。

#### 自動車の運転中の場合

- 急ブレーキをかけず、徐々にスピードを落とし、道路の左側に停車しましょう。
- 停車後は慌てて車外に飛び出さず、カーラジオなどで災害情報を収集しましょう。
- その場に自動車を置いて避難する場合は、移動させられるように車のキーはつけたままで、ドアロックをしないで避難しましょう。



問 不破消防組合消防本部 ☎23-2030



## 警察通信 Police Information

### 冬季におけるスリップ事故防止

冬季は、積雪や路面凍結によるスリップ事故が多発します。

車両の冬季装備と凍結・スリップに備えた慎重な運転で交通事故を防ぎましょう。

#### ○出発前の準備は大丈夫ですか

突然の降雪や凍結に備え、冬用タイヤの装着、タイヤチェーンの携行と、万が一に備えブースターケーブルや牽引ロープなどを準備しましょう。

#### ○「急」の付く操作は厳禁です

急ハンドル、急ブレーキ、急加速など「急」の付く操作はスリップ事故の原因となりますので、慎重な運転操作をしましょう。

#### ○速度を落とし、十分な車間距離を取りましょう

車間距離を十分取り、心と時間にゆとりをもった走行を心掛けましょう。

坂道、カーブ、橋の上、トンネル、日陰部分は凍結していないか路面状態に十分目を配って走行しましょう。

問 垂井警察署 ☎22-0110